

平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	中央アジアとの対話・協力関係経費	担当部局庁	欧州局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成17年度開始	担当課室	中央アジア・コーカサス室	室長 池上 正喜				
会計区分	一般会計	施策名	I-4 欧州地域外交					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第二項及び七項	関係する計画、通知等						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「中央アジア＋日本」対話等の枠組みを通じて地政学的に重要な位置にあり、また、我が国の資源外交上重要な中央アジア諸国との関係を強化する。同時に、我が国と価値観を共有する欧米諸国や中央アジア地域に影響力を有する周辺国との協議を行い、情報・認識の共有を図り、協力の可能性を探ることで我が国の対中央アジア政策を強化する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	2004年8月に立ち上げた「中央アジア＋日本」対話の枠組みで、外相会合、外相会合の準備を兼ねる高級実務者会合(日本側は局参事官、中央アジア側は次官が団長)、各分野の具体的な協力につき協議を行う分野別協議(課長級)を実施するもの。これまで外相会合を3回、高級実務者会合を5回実施しており、本年第6回高級実務者会合、明年第4回外相会合を実施予定である。また、米、EU、独、トルコ、ロシア及び中国等の第三国と中央アジアに関する協議を実施する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20	10	9	12	17	
		補正予算	—	—	—	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	20	10	9	12	17	
	執行額		12	6	5			
	執行率(%)		57.4	60.2	54.4			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	本件事業は、対話及び協議を実施し、情報・認識を共有し、今後の対中央アジア政策を強化することを目標とする。中央アジア諸国との関係が安定的に発展していることを示す参考指標として同諸国との貿易額(財務省統計に基づく)の推移を記載する。		成果実績	億円	1,657.10	645.5	1,028.10	
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	①「中央アジア＋日本」対話の枠組み→外相会合(平成22年8月)、高級実務者会合(平成20年7月、平成22年7月)。②主要国との協議(平成20年9回、平成21年度13回、平成22年度7回)		活動実績 (当初見込み)	回数	10	13	9 ()	— ()
単位当たりコスト	(円／)		算出根拠					
平成23年度 (単位:千円) 予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	旅費	7200	6653	旅費(航空機クラス)による増。				
	旅費	3940	8906					
	人件費	433	553					
	人件費	391	270					
	会議費	294	514					
	計	12258	16896					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	我が国の資源外交上も重要な中央アジア諸国の外相を招聘し、「中央アジア＋日本」対話の枠組みで今後の協力の可能性につき意見交換を行うことは我が国の国益に叶うもの。また、第三国との協議を通じて情報・認識の共有を図ることは対中央アジア外交強化の上で不可欠。経費の大半は出張旅費及び招聘旅費であるため、その正確な把握と節約に努めている。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状どおり	—		
		上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)	
—			
		補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）	

※平成22年度実績を記入

外務省
9百万円

(中央アジアとの対話・協力関係経



A 出張者7名

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	出張旅費	3.9			
計		3.9	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者(7名)	出張	3.87		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					